

FUKUSHIMA PROJECT

シンポジウムを開催(参加費無料)

早稲田大学大学院政治学研究科、サイエンス・メディアセンターとの共催で、シンポジウムを開催します。
参加は無料です。

名称	国際シンポジウム「FUKUSHIMAレポート～原発事故の本質～」
主催	FUKUSHIMAプロジェクト 同志社大学
共催	早稲田大学
日時	2012年1月15日(日)午後1時より5時半まで
参加費	無料
場所	早稲田大学小野記念講堂

【プログラム】

- 13:00 ~ 13:10 開会挨拶

西村吉雄(早稲田大学客員教授、FUKUSHIMAプロジェクト編集部部长)

- 13:10 ~ 13:40 「見逃されている東電原発事故の原因」

山口栄一(同志社大学教授、FUKUSHIMAプロジェクト委員長)

- 13:40 ~ 14:40 「3000日と5000基の原子炉」 **逐次通訳あり**

Prof. David Cope(英国国会・科学部門長、チェルノブイリ原発事故調査英国代表委員)

- 14:40 ~ 15:10 「原発報道は「大本営発表」だったのか」

瀬川至朗(早稲田大学教授)

- 15:10 ~ 15:30 休憩

- 15:30 ~ 17:20 パネルディスカッション

座長:

仲森智博(日経BPコンサルティング チーフストラテジスト、FUKUSHIMAプロジェクト委員)

パネリスト:

飯尾俊二(東京工業大学原子炉工学研究所准教授、FUKUSHIMAプロジェクト委員)

河合弘之(弁護士・さくら共同法律事務所パートナー、FUKUSHIMAプロジェクト委員)

川口盛之助(アーサー・D・リトル(ジャパン) アソシエイト・ディレクター、FUKUSHIMAプロジェクト委員)

田中幹人(早稲田大学専任講師)

西村吉雄(早稲田大学客員教授、FUKUSHIMAプロジェクト編集部会長)

山口栄一(同志社大学教授、FUKUSHIMAプロジェクト委員長)

● 17:20 ~ 17:30 閉会のご挨拶

瀬川至朗(早稲田大学教授)

[このウィンドウを閉じる](#)

Copyright (c) 2011 FUKUSHIMA PROJECT All rights reserved. 本webサイトの著作権はFUKUSHIMA プロジェクト委員会に帰属します。
本サイトに関するお問い合わせは、「FUKUSHIMA プロジェクト」事務局 info@f-pj.org まで